

袋井市民の安全で安心な暮らしを守るために

# 袋井市中部 豪雨災害対策アクションプラン



## アクションプランとは

アクションプランとは、こうした浸水被害に対して河川、都市計画、農業、防災及び道路など治水対策に関係する各機関と住民が、浸水被害の実態や原因、対策の目標について認識を共有しながら、各々が取り組むべき具体的な行動を記した共通の『作戦書』です。

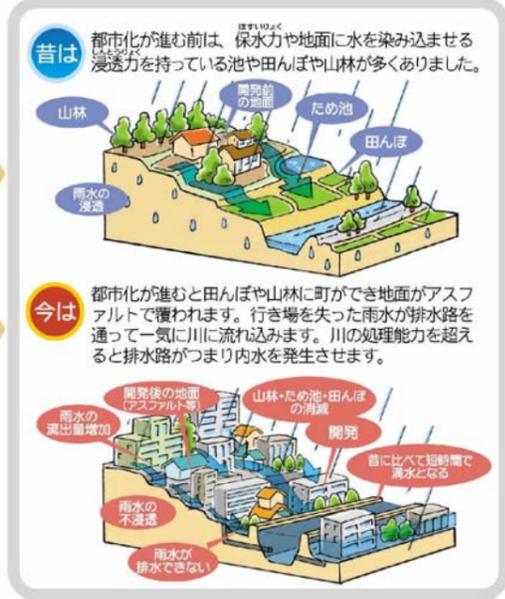
## 原因と課題

- 川の流れが緩やかでもともと水がたまりやすい地形
- 地域の急激な都市化

- 地面にしみこむ雨水の減少
- 一時的に雨水をためる場所の減少

### 流出量増加

急激に川に流れ出す水が増えることにより、川の水位が上昇し、低地に降った雨の排水処理が困難となり引き起こされる浸水被害(内水氾濫)が発生 → 平成16年11月洪水で甚大な被害が発生



## 近年の浸水被害状況

袋井市中部を流れる蟹田川・沖之川・小笠沢川の流域は、低い土地が広く分布することから、たびたび深刻な浸水被害に見舞われています。

## 平成16年11月洪水被害



洪水名	降雨要因	洪水被害内容								
		蟹田川		沖之川		小笠沢川				
		床上(戸)	床下(戸)	床上(戸)	床下(戸)	床上(戸)	床下(戸)			
S49.7.7	七夕豪雨	堤防決壊3カ所 家屋全壊流失87戸 浸水家屋2,240戸 農地浸水989ha						6	0.1	
H2.9.30	台風20号			6	20	1	17	0.4		
H3.9.18~19	台風18号			5	5					
H3.11.27~28	前線				1	1	5			
H10.9.15~16	台風5号			10	12					
H10.9.23~24	台風6・7号			136.2	15	25	70.1	1	28	1.1
H16.10.8~9	台風22号			2	4					
H16.11.11~12	前線	15	74	149.6	16	28	39.6	4	77	2.4
H17.7.9	前線			1	1					9

## 袋井市中部豪雨災害対策アクションプラン

～水害に強い街づくりを目指して～

## 目標・対象エリア

### 対象エリア

水系名	流域名	主な河川名	床上浸水被害が多発する地区
太田川水系	蟹田川流域	蟹田川、松橋川	川井西、新池、田原
	沖之川流域	沖之川、鷲巣川、大谷川	大谷川左岸、村松西
	小笠沢川流域	小笠沢川、秋田川	高南

### 目標

平成16年11月洪水と同規模の集中豪雨が発生した際に、床上浸水多発地区※1に対して、

**床上浸水被害を概ね解消**※2します。

※1 床上浸水が多発する地区とは、3流域の中で床上浸水被害が多発した6地区です。  
 ※2 地形的に床上浸水被害の解消が困難な箇所が存在します。

# アクションプランの対策メニュー

従来から行政が行ってきた河川改修だけでなく、企業や住民と協働し**12の具体的な対策**を実施することで、流域を水害に強い体質に改善していきます。

- 1 河川改修
- 2 合流点形状の改良
- 3 排水施設の整備
- 4 遊水池の設置
- 5 流出抑制施設の整備
- 6 ため池の洪水調節機能の整備
- 7 適切な土地利用の誘導
- 8 水田貯留及び保水地域の保全
- 9 耐水壁の整備
- 10 防災情報の共有化
- 11 水害意識の啓発及び避難対策
- 12 水防活動の充実、地域コミュニティの構築



# 住民との協働

アクションプラン作成後は、懇談会等を設置し、流域住民と協働して対策の推進を図ります。



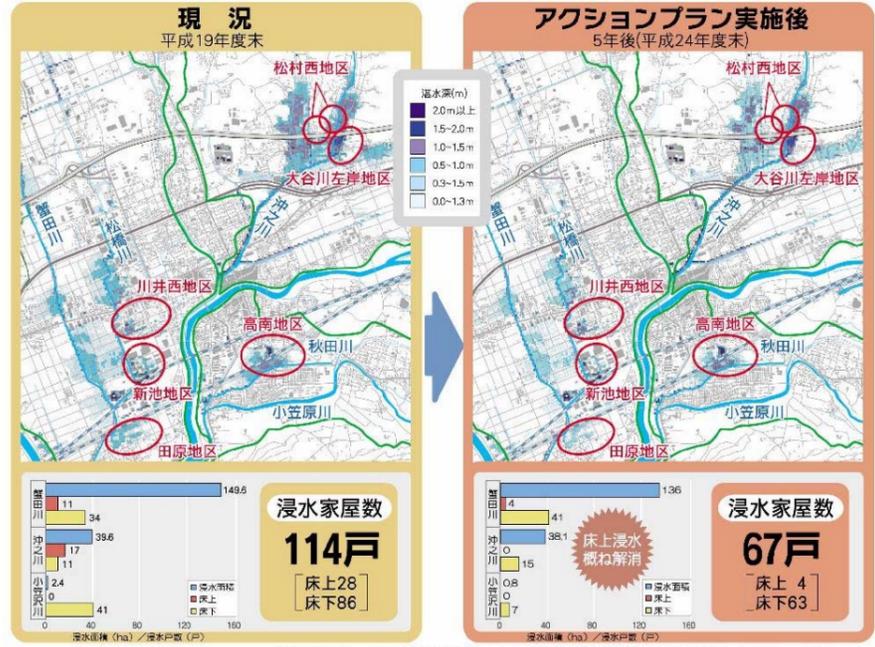
# 具体的な対策が実施されると

アクションプラン実施(5年後)により、平成16年11月洪水と同規模の集中豪雨が発生した際に、床上浸水多発地区の床上浸水被害を概ね解消します。

ただし、アクションプランは緊急的な対策を盛り込んだものであり、気候変動の影響による豪雨の多発が心配されている中、一定規模以上の豪雨に対しては浸水被害の発生が予想されます。

被害を少しでも減らすためには、行政の対応だけでなく住民や企業が一丸となり取り組む必要があります。

アクションプランの作成は、官・民の枠を越えた流域全体での浸水対策の取り組みの最初の一步です。



## 蟹田川流域

## 沖之川流域

## 小笠沢川流域



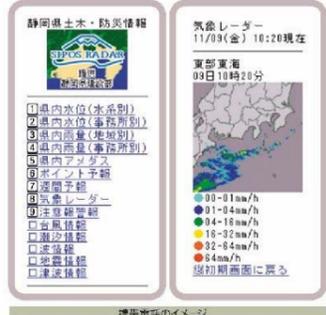
- 凡例
- 保水地域の保全
  - 水田貯留
  - 調整池・遊水池の設置
  - ため池の洪水調整機能の整備
  - 流出抑制施設の整備
  - 合流点形状の改良
  - 河川改修・排水路等の改良
  - 河川の維持浚渫・河道内植生の管理
  - 耐水壁の設置
  - 内水排除ポンプの設置
  - 主要地方道
  - 流域界
  - 対象河川
  - 市町界
  - 排水路
  - 下水道

# あなたにもできるアクションプラン！

住居周りに雨水流出抑制施設を設置し、洪水時に流れ出す水を減らす取り組みや、

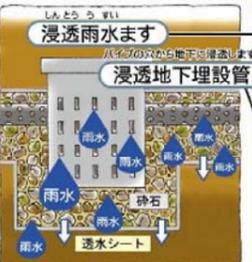
ハザードマップやサイボスレーダーの防災情報を活用することで、洪水時における避難行動を円滑に行い被害を最小限に抑えることができます。

静岡県土木総合防災情報 **サイボスレーダー**  
 パソコン用アドレス <http://sipos.shizuoka2.jp/>  
 携帯電話用アドレス <http://sipos.shizuoka2.jp/m/>



## 住居周りの雨水流出抑制の例

みなさんで、洪水時に流れ出す水を減らす取り組みを実施しましょう。  
 例えば、  
 ・宅地内の雨水ますを浸透性の高いものにする。  
 ・駐車場・玄関周り等を浸透性舗装にする。  
 ・雨水貯留タンクを設置する。



## 浄化槽を転用したタンク

ためた水を有効に利用できます。

